令和５年度　雲南市立海潮中学校　学校経営構想

雲南市教育基本目標

ふるさとを愛し
心豊かで
たくましく未来を切り拓く
雲南市の人づくり

校　　訓

自主　創造　協同　健康

学校教育目標

ふるさとに誇りをもち
心豊かで　夢に向かって
たくましく生きる生徒の育成

しまね教育魅力化ビジョン

ふるさと島根を学びの原点に
未来にはばたく心豊かな人づくり
〇学力を育む
〇社会力を育む
〇人間力を育む
視点→学びの支えを築く・深め広げ豊かにする・人生や社会に生かす

めざす生徒像

〇自ら課題を見いだし、その解決に向かって
主体的に考え、行動し続ける生徒（自主）
〇新たなことに積極的に挑戦し、
試行錯誤しながら粘り強く取り組む生徒（創造）
〇人とのかかわりやつながりを大切にし、
力をあわせて協働して課題に取り組む生徒（協同）
〇心身共に健全な生活を心がけ、
日々の努力を着実に積み重ねる生徒（健康）

めざす学校像

「学びのふるさと海潮中」
〇少人数の強みを生かした豊かな学びを通して、
将来にわたって生きて働く力を育む学校
「心のふるさと海潮中」
〇ふるさと海潮への愛着と誇りをもち、
地域に貢献しようとする意欲と実践力を育む学校

めざす教職員像

〇生徒への深い愛情と高い人権意識を備え、
生徒の自己実現のために情熱を注ぐ教職員
〇教育のプロとしての強い使命感をもち、
自らの専門性を磨き続ける教職員
〇保護者や地域との信頼関係を築き、
生徒のために協働して海潮の教育を推進する教職員

学　校　経　営　の　基　本　方　針

キャリア教育とふるさと教育を中心に、「少人数であること」と「教育資源の豊富な海潮地区の学校であること」の強みを最大限に生かす。

〇生徒が通いたい学校
・「わかる」「できる」喜びを感じる（授業等）　・自己肯定感が高まり、自己有用感を感じられる（学校行事、生徒会活動等）
・居場所や絆があって居心地がいい（学級、部活動、学校等）

〇保護者が通わせたい学校
・子どもの成長が見える　・子どものために真摯に協働する教職員の姿が見える　・高い専門性をもつ教職員に相談ができる

〇地域が応援したい学校
・生徒による地域貢献…地域の行事に生徒が参加する等⇒地域が元気になる　・地域の生徒の成長にかかわることができる

学　校　経　営　の　重　点

１　主体的・対話的で深い学びのために　・・・　「何を、どのように学び、どんな力をつけるのか」を大切にした学習を展開する

〇「わかる」「できる」喜びが味わえる授業・・・少人数の強みを生かした細やかな学習指導（Ｔ２等の活用よるTT等）、深い教材研究による指導方法の改善（「めあて」「見通し」「振り返り」・「まとめ」、発問・指示）

〇思考力・判断力・表現力の基盤になる基礎学力の定着と家庭学習の充実・・・家庭学習ノートの活用（R４学校評価より）、宿題の量と質・宿題と授業・テストとの関わりの工夫、家庭との連携

〇ＩＣＴの活用推進・・・学習用タブレット端末やデジタル教科書等の効果的な利活用→ねらいにせまる・考えを深める・話し合い活動の効果を高める＝指導方法の改善につなげる

〇考えや思いをまとめて伝える場面や話し合う場面の効果的な設定・・・「対話的な学び・深い学び」、海潮こ小中の合言葉「思いを伝えよう」の具現化と自己肯定感の育成につなげる

２　自他を大切に心を豊かにするために　・・・　生徒一人一人が自己肯定感・自己有用感を高め、お互いを認め合う活動を推進する

〇特別の教科道徳を中心に全ての教育活動での道徳教育の充実

〇人権課題の解決のために人権感覚を磨き、実践力を育てる人権・同和教育の推進・・・毎日の学校生活での意識化、人権週間等での深化

〇深い生徒理解に基づいた特別な支援を必要とする生徒への支援・指導の充実・・・深い生徒理解（情報共有・行動共有）に基づいた支援・指導、関係機関との連携

〇朝読書等の読書活動の充実と学校図書館活用教育の推進・・・効果的な読書活動のための工夫、メディアコントロールの推進（R４学校評価より）

〇深い生徒理解に基づいた積極的な生徒指導の充実・・・アンケートＱＵや教育相談による居心地の良い学級集団づくり、不登校といじめの未然防止の計画的な取組、ＳＣの活用

〇学校行事と生徒会活動の工夫・・・より良い学校づくりへの参画意識の育成、教職員や保護者との合同活動の充実、一人多役での責任感・自己肯定感・自己有用感の育成

３　ふるさとに誇りと愛着をもつために・・・「つながり」や「かかわり」を大切にした体験活動・交流活動を充実する

〇海潮地区の豊かな教育資源を生かしたふるさと教育の充実・・・茶摘み体験、伝統文化体験等を中心にした学習・・・地域講師の活用・異年齢世代との交流

〇地域での職場体験活動や『夢』発見プログラムの充実・・・キャリア教育とふるさと教育の融合・・・自己の生き方とふるさと海潮への貢献や将来を考える機会に

〇こ小中一貫教育の取組の工夫・・・合同運動会等のこ中・小中の交流活動→こ小との交流「頼られる存在」＝自己肯定感・自己有用感の育成

〇ボランティア活動の取組の充実と積極的な参加・・・学校主体の取組、地区民体育大会・うしおまつりなどでの地域貢献・・・自己有用感の育成

４　信頼される学校となるために・・・保護者や地域との連携し、「社会に開かれた教育課程」を具現化する　・　校内研修の充実を図る

〇積極的な情報発信・・・授業・学校行事等の公開、ＰＴＡ総会・学級懇談会等での学校紹介や説明、各種便り、学校ＨＰ

〇学校評価の公表とコミュニティースクールによる学校運営の評価・改善

〇こ小および地域との連携・・・海潮の子どもを語る会・海潮地区校園長会、放課後学習支援・人権・同和教育講演会での連携

〇保護者との連携・・・ＰＴＡ活動、部活動での丁寧な関わり、電話や便り等での細やかな連絡と保護者面談等での誠実な対応

〇教職員の授業力向上、教職員の服務規律の確保、さまざまな課題に対する組織としての対応力の強化等ための校内研修の充実